2006年12月16日

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

> FAX03(3207)3918 発 行 人 編集主筆 前 昇 澤 知代志 竹 竹

## クリスマス

# メッセージ

使は去って行った。」(1章 ますように。』そこで、天 言葉どおり、 この身に成り しは主のはしためです。お です。

は昂ぶる気持ちがあったで の心を打ち明けられたので 行きました。 マリアの心に 人。用を済ませると帰って つもと変わらぬ時間が戻っ しょう。 天使と対面して神 にわかに訪れた天来の客 天使が去った後は、い まった。 け入れきれなくなってしま がら、自分の心だけでは受 うなるのだろう。 自分で決断をしておきな マリアは怖くなりまし

特別な時間は過ぎまし 節 に挨拶した。」 (1章3~40 アの家に入ってエリサベト に行った。そして、ザカリ で山里に向かい、ユダの町 「マリアは出かけて、急い **42** 節)

"アッ、大変なことを言っ

後に残るものは、神の

そこでマリアは我に返る

「マリアは言った。 『わた | 言葉と信仰の決心のみ。 人 生全体がかかる重大な決断 成りますように。」言ってし 「お言葉どおり、この身に どれから先、わたしはど ほんのわずかな時間で、 を身ごもっている。」(1章 す。「親類のエリサベトも、 ます。行く先は一つ。天使 ている。マリアはユダの町 年をとっているが、男の子 がはっきりと言ったので 36節)同様のことが起こっ へと急ぎます。 「マリアの挨拶をエリサ マリアは駆け出して行き

されています。]」(1章1~ す。胎内のお子さまも祝福 声高らかに言った。『あなた 内の子がおどった。エリサ ベトは聖霊に満たされて、 ベトが聞いたとき、その胎 は女の中で祝福された方で 葉を真剣に受け止めようと ありません。むしろ、神の言 う。不安のない信仰生活は しょう。秋に教団総会が行 ののきは増し加わるもので われました。わたしたちの すればするほど、不安やお わたしたちはどうでしょ

上。エリサベトは、信仰と 不安のはざまで恐れおのの一した。確かにそうだと思い 二人の歳の差は親子以 「荒野の四〇年」と語られま 教団の歩みを振り返って、

まえてなお、今おかれてい ものです。しかしこれを踏

るわたしたちの現実には厳

別な人ではありません。し

歯を喰いしばって忍苦をし

などはないのです。

ことは明らかです。しかし、 力と忍耐が求められている

与えられました。彼女は特

神の言葉は、平凡な娘に

思います。多くの痛みはあ

返してここまで来たのだと

っても、教団の歴史は尊い

分からなくなるのです。 何をどう語ったらよいのか き、過ちと悔い改めを繰り ざまな恵みと試練をいただ も荒野を旅しました。さま あったように、わたしたち たイスラエルの民がそうで

明るい気持ちにはなれませ

ん。福音は人の心に届かず、

ても、急に事柄が好転する

とは思えません。地味な努

伝えます。しかしその結果

試練があるでしょう。教団

わたしたちの行く先には

全体の歩みを考えても、そ

れぞれの教会の歩みを考え

です。懸命に御言葉を宣べ

B 3 # # 2 #

くマリアを優しく受け入れ | かし、言葉だけのきれいご | アの妻です。これは意味深 ます。そしてエリサベトは、 で告げるのです。 最後にきっぱりとした調子

大変なことを言ってしまった

なんと幸いでしょう。」

は必ず実現すると信じた方

「主がおっしゃったこと

言葉自体は上品です。

信じたとおりに生きてごらん

ます。出エジプトを果たし

しいものがあります。それ

はまるで、体力の弱いもの

っていない。信じたとおり "マリア、お前の決断は間違 は、なんと幸いでしょう。」

は必ず実現すると信じた方

主がおっしゃったこと

んと幸いでしょう。

から順番に倒れていくよう

に生きてごらん。

おりに生きてごらん。

りません。 とを言っているわけではあ

親類のエリサベトは力強

違っていないよ。信じたと "マリア、お前の決断は間

> 間違っていない。マリアの マリアです。"お前の決断は

なったわけではありませ

とりの力でキリストの母に

りません。それどころか、わ

日も深夜、

▼十二月二四

たしたちもまたマリアと共

にエリサベトの言葉を聞き

ん。エリサベトの支えが必

安の間で恐れを抱いている いことでしょう。信仰と不

界の救い主を宿していま

のです。ささげる信仰と献

う我が身の中に宿している

たちが、救い主を教会とい 人々のために、このわたし

> 日は休業致します。 年金局は二九日~一月四

総幹事

竹前 昇

身を主が軽んじることはあ

かし小さなマリアが、全世

す。そしてマリアは、自分ひ

信仰に保証を与えます。

エリサベトは祭司ザカリ 渡ししてあげたのです れの中で固くなっている乙 女の心を、神さまの許へ橋

で苦しむマリアには、支え

の言葉が必要だったので

要でした。信仰と不安の間

ます。聞いて良いのです。

行き場もな どこといって 省もできず、

"おっしゃったことは必ず

45 節

広田叔弘

只中に救い主キリストは生

二〇日に発行致します。 ・一八号を合併号とし、一月

なお教団事務局、出版局、

す。神さまから祝福されて

「教団新報」次号四六一七

います。欠け多い私たちの

きておられる。世の多くの

ルカによる福音書一章39





















ようとするのではありませ

ん。わたしたちは主の民で









## 10







3

4

5

(1)



(1)

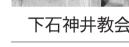








6



下石神井教会 (東京教区北支区・練馬区) 『わたしの魂は主をあが 「そこでマリアは言った。

美の歌をうたい始めます。

いただいた後、マリアは賛

エリサベトから御言葉を

保証を与えて下さるのは神さま

身分の低い、この主のはし ある神を喜びたたえます。 ったからです。』」(1章46~ ためにも目を留めてくださ

め、わたしの霊は救い主で る愛を歌っています。 クリスマスは、神さまが

を低くされた日です。福音 を告げ知らせるために、 小さな者たちのために、身

小さなマリアが小さいまま を歌う心に変わりました。 に、神さまの大きなあふれ 不安であった心は、賛美 平 葉を聞きつつ、悔い改めて ましょう。繰り返して御言 を宿すものになっていま えられました。世に対して、 です。この道を歩んで行き を与えてくさるのは神さま す。 間違いはありません。保証 このわたしたちが、救い主 福音を信じる信仰に、

凡なわたしたちに恵みが与

の言葉と聖霊の祝福をいた したちも出て行きます。神つ日常生活の場です。わた 出て行く。福音の僕として、 に出て行くのです。 慰めと希望をもたらすため す。そこは険しい現実の待 やがて自分の家に帰りま だいて、社会と隣人の間に て行きましょう。 賛美を終えたマリアは、

は助け合って、共に前進し サンタクロースを囲んで、 旦 イブの宴が持たれた。三〇

束しておられるのです。わ そして苦悩を抱くわたした ろし、生涯をささげて従う ん。このお方に命の錨を降 る信仰に間違いはありませ も、イエスを救い主と信じ たしたちに欠けはあって は、神さまの御言葉です。主 されて言葉を語りました。 ちの現実を知り、祝福を約 なる神さまが、信仰と不安、 すなわちエリサベトの言葉 実現すると信じた方は、な エリサベトは聖霊に満た

きたという苦労話、否、証 らない貧しい生活の中で音 安部正義さん。『馬槽のな 始まった。▼客は作曲家の ご馳走もあった。残ってい 品々と、クリスマスらしい トにと綺麗に包装された ごす恋人もない、哀れな神 っとピアノを弾くことがで 楽を志し、成人してからや た神学生が皆呼び集めら った。神学生へのプレゼン ていた。▼突然の来客があ を、貧乏たらしく分け合っ 腹が空いたね」と愚痴りつ コンビニのない時代、「お で、たむろしていた。未だ いて弟妹を養わなければな かに』が生まれる逸話、働 学生数人が、寮のロビー にわかにイブの祝会が 教会で貰ってきた菓子

歩みが、祝福されないこと

を伺った。讃美歌も一緒に てくれなかったが、この サンタクロースは一度も来 歌った。▼田舎の貧しいノ ンクリスチャンの家庭に、 神学校の寮で、確かに



8







年程も昔の古い古い話だ。





社事同)の中堅

社会事業奨励I

日メッセージ

事業同盟(以下、

キリスト教社会

職員研修会が開

調整すべきことが多々残っており、先の見えにくい

ば、

国の社会福祉施策が大きく変わりましたが、まだ

状況の中にあります。 新しい制度の中で、 抱えてい

る困難の大きな方々が見捨てられることがないよう

聖書に聴きつつ研鑽を重ねる良い機会となりまし 催されました。福祉の原点を拝見し、学ぶと共に、 教

牧師の情熱に打たれたキリ 戦争の惨禍の只中、一人の

OUMは二〇一〇年に五〇 立(一九六〇年)されたJ 九四九年)され、その後創

歩んだ歴史でもあります。

(人々の中へ行きなさい) "Go to the people"

す。けれどグローバル化・ る」は私たちの行動規範で れるように、「みんなで生き ュネ・コラギ」にも教えら JOOSの歴史は、日中

キリスト教医療ミッションの現場から

| けとして、時代の荒波を乗

| 若者の言葉「サンガイ・ジ

り越え草の根の人々と共に

(1)

2

3

4

5

(6)

地の若者たちを巻き込んで 動のうねりと呼応し全国各 MCA・学生キリスト教運 スト者医科連盟が設立(一 いきました。 遡ります。 それは、 学生Y て中国難民救済施療団が赴 スト者医学生が中心となっ いた(一九三八年)ことに 第二次大戦後、日本キリ 歩みは、JOOS二五年史 ける海外で は日本にお ます。それ 周年を迎えます。私たちの

著)」に克明に記録されてい 「アジアの呼び声に応えて (新教出版社:隅谷三喜男 があのネパールで出会った な精神です。 --これは、私たちの基本的 故岩村昇さん 世界と日常もそこにありま ボーダーレス化が加速化さ 命が危機にさらされる現 せる「共に生きられない」

実。私たちは、だからこそ

ます。独立性と自由を保つ

す。平和と公正への脅威、

す。



せないのです。

協力の草分 の保健医療 1939 年当時の診療活動

ないでしょう。社事同はこの時代にキリスト教社会に、制度面でもさらに検討が加えられなければなら 良い関係を維持し、祈りをもって支え、諸教会が共 事業の意味を再確認し、方策を打ち出して関係協力 に労することのできるように、 を強めています。教団社会委員会は社事同とさらに 橋渡しの役割を担い たいと願っていま

(ニーズは拡大の一途)。

しかしJOUNは、様々

時には血を流す闘いの歴史がありました。現在、種々 〇年。これにはキリスト教諸教派・諸団体の祈りと、

売春防止法公布(一九五六年五月二四日)から五

の婦人保護事業が展開されていますが、キリスト教

社会事業の果たす役割はなお大きいようです。

さる十一月七~九日、「かにた婦人の村」で日本

事業のために祈り、協力いたしましょう。また、小 さなことでも、身近なところでなし得ることがあれ 定めています。福祉に献身している人たちと、その を、各教会がキリスト教社会事業を覚えて祈る日と させていただきたいと願います 十二月第一日曜日 日本基督教団は

二〇〇六年十二月三日 日本基督教団社会委員会

3

4

5

6

故岩村昇氏の診療活動 ラデシュ、カンボジア)。 として派遣してきました 者を「JOOのワーカー」 声」を聴き、世界を見つめ た人々の「今、この瞬間」 準の向上に協力しています 人)し、地域の保健医療水 人々のための命に関わりた そして「自国の苦難にある 延べ六〇人の保健医療従事 ていきたいと思います。 最も貧しく弱く小さくされ ・奨学生を支援(現在八〇 い」という志を持つ研修生 に想像力を働かせ、「声なき (現在はネパール、バング JOOのは、四六年間に

が多くいながら、

題は大きく分けて三つで の困難さ。日本のクリスチ ャン人口〇. 八%。 日本の 医療事情なども影響し、(各 す。JOCSが直面する課 なチャレンジを受けていま 第一に、ワーカーの確保

訪問診療に来たお母さんと赤ちゃん

ありません。 原点に立ち返

これは、新しいことでは

ワーカーの発掘・養成・派 それらの人々と共に生きる

は子ども達の未来を奪って

者・HーV感染者」への取 子ども・少数民族・障がい 重点対象としての「女性と

り組みを強化する。第三に、

げました。第一に、平和の

実現に寄与する。第二に、

多くあるものの) 派遣でき 国・地域からの支援要請が るキリスト者の保健医療従

るための契機です。

専心し、新しい五〇年を創 り、現代的な使命の実践に

SOSを発しています。私

世界は悲鳴を挙げ、

事者が得られないのが現状 レンジとも言えるかもしれ ト教の社会的使命へのチャ です。これは日本のキリス

灯火を守りたいと思いま

際ボランティア活動。その 日常の暮らしから関わる国

というポリシーを持ってい それに比例して寄付や募金 るいは社員として私たちの つてピーク時には八五〇〇 金・企業献金は受けない」 も少なくなってきていま た。しかし今は五五〇〇人。 活動を支えて頂いていまし 人を超える人たちが会員あ 第二に、会員の減少。 JOOのは、「政府資 おけるキリスト教共同体と 識を共有し、連携協力を強 のキリスト教諸団体と一緒 題は、私たち自身の自助努 と。 はないでしょうか。日本に と力が求められているので め、課題克服のための知恵 力はもちろんのこと、日本 に、これらの状況や問題意 JOCSが直面する諸課

切手が集まらず、ファンド 続いています。購入希望者 の願いと運動を支えにして ためです。支援者・協力者 手」の時代への逆風状態が 不足。電子及び携帯メール・ ひとりの意識と参画が欠か います。だからこそ、一人 メール便・宅配便など「切 への影響は少なくありませ 第三に、使用済み切手の ろん様々な困難がありま す。バングラデシュはイス くは「非キリスト教国」で ト者を派遣する意味。 キリスト教の地域にキリス 助けや支えを求めていま カンボジアは仏教。開発途 ラム。ネパールはヒンズー。 す。悲痛な叫びと共に。 窮地に追い込まれ、誰かの どにより弱くされた人々が 上の国々では、災害・紛争 貧困・格差・環境破壊な 非

JOCSの活動地域の多 す。 常に「(キリスト者で

ある)私たちは何者か」「何 なたたちが行うのだ」と。 せん。主イエスが背中を押 私たちは関わらねばなりま O年をゴールとして)を掲 度から「今後五年間の方針」 題にも直面します。しかし、 ができるのか」が問われま し続けるから、です。「あ (五〇周年を迎える二〇一 しついは、二〇〇六年 限界もありますし、問 そのことを心に刻み、痛み 人になり、二人が三人にな がって世界を変えていくこ る。力は小さくささやかで ではありません。一人が二 いですが、決して「無力」 ことができると信じます。 も、「私」と「私」がつな リア人のように。 を共有するJOCSであり い」そして「私から始める」。 たいと思います。 善きサマ 「忘れない」「あきらめな

約一一〇〇万人の子ども達 確認する時。世界では年間 いの時。「共に生きる」を ずに亡くなっています。三 秒に一人。 私たちの無関心 が五歳の誕生日を迎えられ クリスマスは、分かち合 教会茅ヶ崎教会に赴任し九 歳。北海道に生まれる。 部卒業後、日本メソヂスト 九四一年青山学院大学神学

するー"Think Globally, を羅針盤とする日本のキリ それぞれが日本各地に根ざ けていかねばなりません。 スト教共同体がつながり、 います。イエス・キリスト 「命と向き合う」働きを続 かつ世界を見つめ行動 た。遺族は妻の潤子さん。 橋孝一氏の出身地「鎌 児島」にお詫びして訂 倉市児島」を「倉敷市 お詫び・訂正 4615号3面、小

使用済み切手運動は、











(JOOS総主事・ 大江 浩報)

-カ

いと祈っています。

世界の実現へ歩んでいきた 平和と公正な「持続可能な」



村で訪問診療をする JOCS ワ



十月十六日、逝去。九

九四〇年関西学院大学神学 歳。広島県に生まれる。

まで大分教会を牧会し隠退 その後多度津教会、札幌教 木下芳次氏(隠退教師) 会を経て、六六から八〇年 部卒業後、日本メソヂスト 教会朝鮮清津教会に赴任。 した。遺族は息子の安和さ

三年まで牧会した。その後 教会の牧師を務め隠退し 二〇〇三年まで茅ヶ崎南湖 十月十八日、逝去。八八

たちは「微力」かもしれな

8

Act Locally"において |

(10)

り」(詩4 11)

ス・キリストを。改革者 る。十字架と復活のイエ 日は千日にもまされ

タレ神様」とまで抗った

残していきたい で平安に生きる時代を

て走る選手をほめる。

種。日本代表監督オシ

ム氏はすき間を見つけ

告を出したのは我が会

松山教会、

生って何よー」と思って

ます。そのことを、「人

安の中で生かされてい

山下万里牧師

東京山手教会に死亡広

員だったから。

(4)歌うこと

50年前に夫が亡くなり

6上記体験から、 イエス

らお伝えしたい。 いる方がいらっしゃった

年間、病気とそれに伴 ました。死ぬまでの10

つ自分を律していきた 様の視点をお聞きしつ

少しでも自分が生

う障害を負うという試 練から信仰を問い直さ られました。「クソッ

きていた時よりは平和

この痛みを忘れまい。

(3) 1961年、

(1) 1944年

誉も勿論財産もないの なりました。地位も名 ット」と確信するように

に草原を歩むような平

か。

何人が牧師になったの

谷川眞海牧師

る」という体験をし、 私が「神に許されてあ

試練は平安までがセ

団のためにも、 教会に奉仕したい。

2

3

4

5

6

8

9

(10)

の信仰を支援したくお きた。教団は、この教会 てこの福音を宣教して は、2000年にわたっ 信じたのである。教会 たちは、この御言葉を

『教団新報』を読もう!

『教団新報』は、教団の動き、教

区の動き、また宣教の現場におけ る動き等、わかりやすく、スピー

ディーにお伝えしています。教会 員、役員の方にも、ご購読くださ

お近くのキリスト教書店または

『教団新報』編集部までお申し込み

るようお勧めください。

一年分 〒共 5,000 円

◎振替 00140-9-145275 『教団新報』編集部

《年間購読料》

《購読申し込み》

ください。

教 新 報 第 4616 号 (3) 寸 2006年12月16日 (第三種郵便物認可) (2)東京都 (3) 1973年 ②山都町(会津地方北西 斎 (3)1959年、 和 ⑷特になし 111952年 11947年 山都教会、 氏家教会、 和田正牧師 (2) 出身地 (6) (5) (4) 抱 モ 趣 負 トー (1) 誕 生 年 ③信仰歴 (受洗 田 藤 教師名) 年、受洗教会 献 (5)特になし 氏家教会 関東教区 山 都 教 会 ⑥教団が「荒野の40年」 5喜ぶ者と共に喜び、 ⑥◎過疎地にある教会と ④音楽を聴くこと、読書 深い対話が生み出され え、克服し、「対立から の対立の過去を見据 渡辺晋牧師 数者が尊重される平和 るようにしていきた 連帯」への新しい歩み ◎様々な考えや意見を ◎多様な考えや活動を く者と共に泣く 連帯の中で、被差別少 を始め、多様性の中で の礎を築きたい。 認め合う 制を重んじる 積み上げていく会議 アジアの教会との 2 2 ◎順不同 泣 (2) (1) **1 9 3 3** 年 (2) 大阪市 (4)書道、水泳、剣道 ②愛媛県西条市 1932年 (3)1955年 (1) 1925年 渡 4ピアノ演奏・バッハ教 31955年、 髙 (3) 1973年 5信仰と生活との誤りな 大 若草教会、 扇町教会、 会力ンタータを毎日聴 高倉徹牧師 岩国教会、 中路嶋雄牧師 部 橋 杉 3 3 清 数 弘 白鷺教会 西東京教区 若草教会 中部教区 ⑥教会の使命は伝道であ 扇町教会 大阪教区 ⑥教会会議は、主のご臨 (4)登山、スキー 5主にあってすべてを見 5温故知新 ⑥①教師とともに重荷を ④教団年金を守り抜 ②教師と信徒の絆が深 です。み前に謙虚であ 井上良彦牧師 る。教会しか出来ない 正しく宣べ伝えるこ き規範である、福音を ③教師を立て教師の生 されたことを主のみ心 行うこと。これが常議 在にとどまることな こと、教会だけが出来 って、対立ではなく和 と信じて受け入れるの かって熱く語る会議を ること、これらを「現 主を愛しぬく。 つめ、主にしたがい、 在を信じ、そこで決議 員の責任と重く受け止 められてゆく教団。 活を守ることを最重 教団の将来」に向 4 **(4)** (2) (1) 大阪府 1 9 5 1 年 (2) (1) **1937**年 (4)旅行、みんなで飲むこ (3)1965年、 東 (2) 山口県柳井市 (生まれ (3)1958年、 (31929年、外地で幼 津 西 明石教会、 育ったのは外地) 佐治良三牧師 いずみ教会、 1951年、 「部落差別がなくなり 澤 谷 村 5 5 正 信仰告白 誠 宏 敏 広島牛田教会 西中国教区 いずみ教会 大阪教区 明石教会 兵庫教区 (6)継続する重要課題に加(5)「初心」 5信・希望・勇気・自由 (4読書、スポーツ観賞 6今日の情勢、状況をふ 6常議員に選ばれたこと 別がなくなりますよう ますように、全ての差 ス・キリストにあって 引き続き、その問いか 深まり、格段に教団の え、政治情勢の危機が 伊藤賢人牧師 =柳井教会、 共に歩んでいきたい まえつつ、福音宣教の 福井邦蔵牧師 神様に祈り求めつつ。 とを願い、平和を願い 先の総会議場でも差別 ていきたく思います。 すべきことを誠実にし を真摯に受けとめ、 を出し、行なっていく。 けにつとめたい 姿勢が問われよう。 前進に向けて、主イエ 歩んでいきたいです。 ての差別がなくなるこ 発言がありました。 全 に」と願い、祈り、声 6 6 (2)(1) 静 1 **9** 3 4年 (2)愛知県 (2) 山梨県 (3)1956年 (3)1931年、 (1) 1 9 2 9 年 (4)サッカー観戦。サッカー (3) 1951年 (1) 1933年 樋 小 金 金城教会、 大宮教会、 日下部教会、 る。ボールを見ている、 樋田豊治牧師 すき間を見ているの三 人の動きを見ている、 には三種類の選手がい 刺 林 田 7 利 貞 明 雄 夫 富士見町教会 東京教区 上尾合同教会 関東教区 日下部教会 東海教区 (4)音楽 (歌うこと) 6紛争から4年、この間 5急がずに、休まずに (4)旅、音楽鑑賞 6聖日礼拝を3000回 5人からして欲しいこと ⑥使徒たちは観たのであ 5 「汝の大庭にすまふ

を人にしてあげなさい

(マタイ7・12)

守りたい (2007年

(2) (1) 東 1 9 3 2年

題を担いつつ、召され

「無私」を信条に、課

るままにお仕えしたい

と祈り願います。 在主

(3)1961年、

波

幸

矢

光明園家族教会東中国教区

小野善太郎牧師

望

月

克

仁

鎌倉雪ノ下教会神奈川教区

鎌倉雪ノ下教会、

家族スキー 松尾造酒蔵牧師

一日一日を精一杯生き

8

9

(10)

8

9

(10)

私の小さな信仰を育て、鍛えてく

いう意味?」と聞かれ 間もなく、「あれはどう

る夫は、少し気の毒。

たさっています。

の教会に於いて、さまざまな出来

事と人々との出会いを用意して、

紛れもない事実です。特に下関に

万町と、各々の教会での貴重な体

が今の私を形作っていることは

分かっているはずなの に大変なことか、よく 説教することがどんな

に、聞かずにはおれな

阿佐ヶ谷、下関丸山、甲府、

会と山口西分区の諸教会が年一回

い私の心の中には、

かと思うこともありま 物が住みついているの

2

3

4

5

6

7

さったばかりか、

遣わされた各々

はそのような反抗的な私を、忍耐 口に到っています。しかし神さま 分らしい在り方を模索し続けて今

こ寛容をもって見守り続けてくだ

出来る礼拝は、本当に

心に耳を傾けることが

いから解放されて、

くなる時も)、すべての思いわずら て、格好つけないでよーと叫びた

幸いなひとときです。

しかし夜ホッとする

うけど、どう?」。私、「う~ん、

わってもまた君と結婚したいと思 言ったことがあります。「生まれ変

その昔、真面目な顔をして夫が

教

私は、「牧師とだけは結婚したくな

留!·」。祖母も母も牧師夫人だった 牧師じゃなければねえ、返事は保

まの悪戯の罠にはまってしまいま い」と心に誓っていながら、神さ

た。その故か、「牧師夫人」と

いう呼称には少なからず抵抗し自

の礼拝で宣教をされた李仁夏先生

さい。

あなたの言葉を切り刻んで

ことは、忘れられません。

第一回

す。

そして、「神さま、ごめんな

(1)

2

3

**(4**)

5

6

7

8

9

(10)

きています。 した。今もそれは、形を変えて生 と生活に豊かな恵みが与えられま な出会いを通して更に、私の信仰 教会と姉妹教会となり、さまざま は不思議な導きで、韓国春川東部 るものでした。 甲府に移ってから ぶり、その後の歩みを大きく変え 私にとって牧師の妻の醍醐味の

順子

寺島 (野方町教会員)

「私」を探し続け

もうまもなくです。 保留していた返事を伝えるのも、 て、一緒に歩き続けてくれた夫に 生の最終ラウンドを目前にし



うになった。

の言葉は、私の信仰を激しくゆさ 壇に立った夫はもう夫ではなく 内に質問出来ること。日曜日、 ひとつは、説教を聴いてその日の (たまに日頃の言動を思い出 のことは、高齢化社会となって対 の優しさと許しがなければ、到記 過ちは数限りなく、教会の方がた ちより教会のことを優先する!」 拝に来れない方が増えている今 分かりまた、そのご家族とも親し んな環境から来られているかよく いことのひとつ。教会員の方がど への信頼を与えられているので して私は神さまと格闘し、み言葉 …」と懺悔するのです。 でもこう の人生のすべてが、神さまの壮大 牧師のパートナーかもしれないけ より大切な働きとして捉えていま くなる、またとない機会です。こ 王にある大切な仲間です。私たち 続けられなかったでしょう。 私は など言われてドキッとし、 れど、教会の皆さんは私のパート 子どもたちからは、「いつも私た また問安に同行するのも、楽し 喜びも悲しみも分かち合う

ことを、信じます

なご計画の内に組み込まれている

韓国仁川地下鉄駅で

八甲田での集い〉

## での農伝の働き

キリスト教農村伝道推進協議会



民信徒の自立的信仰確立を ルで始まったが、現在は、 の農伝部分を担う活動とな 戸を広げ、実質的には教区 目差して、エキュメニュカ が今も続けられている。農 されたことがきっかけとな で、教区主体の農伝が廃止 教会の教職、信徒の方の祈 りで行われている。 委員は と寝袋を持ち寄り、手づく 生活者全てを対象にして門 りにより立ちあげられた会 宗の教会を持ち廻り、 いれ、青森、秋田、岩手三 〈二四年の歩み〉 〈運営の特徴〉 (一二00円)、賛助会で賄 運営は、参加費、年会費 この会は、青森県野辺地 自主団体としての活動 食材 十周年記念誌が発行されて 動や、私達の農伝協の事務 みを続けながら、三愛塾運 北海道での牧者としての歩 道神学校に学ばれ、奥羽、 の死をきっかけに、農村伝 きに繋がった。またお子様 学長との出会いが、 あった。酪農学園の樋浦誠 共に歩む者として~」と題 論』~農村に生きる人々と いる。 食べ物を考える会」は、 交流の場としての「農業と な、農民と消費者との学習、 リスチャンセンターでの働 た。内容は、 に講師になっていただい 局も担っていただいた。 特 し青森教会の渡辺兵衛牧師 に野幌教会当時の全道的 周年目を迎え、今春には、 誠実な証しで 名寄ク

の参加者が与えられた。 合同で行われ、延べ三〇名 り、協力牧師に支えられ、 農民信徒が中心になりなが し回目からは報告を出すよ /ターの収穫感謝の集いと 四回目の総会及び研修会 去る一〇月二三、四日第 テーマは「『私の農村伝道 八甲田伝道所・農村セ ほしいものと思った。 その枝が伝道にも役立って の牧者の証しであったが、 仕していただき、早天礼拝 ち方は、開催県の牧師に奉 により、日本酒醸造元出身 となっている。今回は都合 は、信徒による証しが恒例 (田中洋一報/農伝協会長) ホッとする集会となっ 開会礼拝、閉会礼拝の持

収穫物を持ち寄っての愛餐会

年内に常設委員会および常設専

おいてそれらが定まってくること だろう。丁寧に一つ一つに対応す されているが、これからの歩みに 活動へと向かっていく。 総会についての様々な評価がな

日本宗教連盟における他の宗教団 模索と努力が続いている。 他教派と人々との対話、協力の

与えられて終り、 こうとしている。

常議員会を開催して、新年早々の

広くは

第35回教団総会も多くの課題を 新しい歩みにつ

会の礼拝に出席するようになっ

埼玉県入間市にある武蔵豊岡教 紹介で恭代さんと結婚、二人で

た。 恭代さんは松本ホーリネス

門委員会委員を選任し、第一回の 体との連絡も多いのだが、キリス するはずだ。 人々との伝道協 ずみをつけた ト教会の一致を目指した方向には い。特に福音派の 力は教団を豊かに

> 八〇〇人を擁するキャンパスに成 長していることにからし種の譬え

か六名から始められた学び舎が四

の現実を見せられ心熱くされた。

教団議長に最初の祝辞を呈する

と教会を重視してくれている激励 を感じ取らされた次第である。

深谷松男学院長はかって常議員

ことを得させる学校の姿勢に教団

切にして進んでいきたい。 だが、キリスト教主義学校、キリ スト教社会事業同盟との連帯も大 教団総会でも話題になったこと 教団総会直後 祈りと期 符に応えて 宮城学院創立1

> た方であることは忘れられない。 として教団形成のために尽力され

欠かさずに守ることができた、 チヒッターのはずが、いつのま 会を奉仕していた。最初はピン 年前まで武蔵豊岡教会で礼拝司 美歌を用いているが、ほんの数 いる。 と神様の導きに心から感謝して そ困難を越えて、ずっと礼拝を 恥ずかしげに語る。しかし、恭 て礼拝に出席されているお二人 代さんは二人 んで座るのは照れてしまう、と だが、礼拝以外で二人一緒に並 一さんは、 一緒だったからこ 点字の聖書や讃

だった。戦争中にもかかわらず

信仰的な話がなされる等、

の盲学校では比較的自由な教育

か行われていた。

九六六年に盲学校の先輩の

かけは、在学していた川越盲学 であった。信仰の道を歩むきっ

校の英語教師が語る神様のお話

四歳の時に埼玉県川越市のハレ

ルヤ教会で受洗した。この教会

は目の不自由な方が集まる教会

生活の長さは群を抜いている。 の中でも、本橋一一さんの信仰

る伴侶を主に 教会で受洗し

望んでいたので、

信仰を共にでき

にか十七年間にも及ぶ奉仕とな

一さんは、

一九五〇年、

従が多い武蔵豊岡教会の教会員

長い信仰生活を送ってきた信

だった。現在はいつも肩を並べ 一さんとの結婚は望んだ通り **Ունա (Միր Ունա Միր Ունա** がある。お二人の信仰の確かさ 確信するように力強く語る。 すことができるという。一一さ 体に触れると不思議と痛みを癒 うち、祈りながら患者さんの身 教会員の励みになっている。 ける教会員の姿を見かけること 橋さんご夫妻のマッサージを受 事は現役で続けられている。い いものの、鍼灸マッサージの仕 った後に、気持ちよさそうに本 つも神様に語りかけながら針を んは「神様の癒しはある」と、 現在は司会の奉仕はしていな 武蔵豊岡教会では礼拝が終わ 間違いなく信仰生活の浅い

### 神様の癒しに生きる

さん

本橋



1926年生まれ、武蔵豊岡教会員 本橋-さん・恭代さんご夫妻。武 蔵豊岡教会の礼拝堂で

20周年記念式典に出席した。僅

え行くこととしたいのだが。

、教団総会議長 山北

る教団であるうちに、しっかり応

多くの人に祈られ期待されてい

8

9

(10)